

授業と評価の年間計画

教科	芸術		科目	美術Ⅱ
使用教科書(発行所)	高校生の美術2 (日本文教出版)			
履修条件 対象生徒	選択 普通科 2年			
学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。			
学習方法	<p><b>【授業】</b> 美術Ⅱにおいては、美術Ⅰの学習を基に、創作の喜びや完成の達成感を広く味わうと共に、表現を支える画材や表現が生まれる文化や歴史・背景を探求する。そのために、学校図書館や一人一台端末を活用し、幅広く情報収集することにより表現・鑑賞の活動を充実させる。また単元ごとに、単元に関する著名な作家の作品を鑑賞し、その表現が生まれた背景や美意識、画材・技法を学習する。</p> <p><b>【家庭・補習・その他】</b> 授業時間内で完成できる課題がほとんどであるが、期限に間に合わない場合は放課後を利用して作品を完成させる。</p>			
学習計画 と ねらい	1 1学期 (1) 期末考査まで ア 水彩画(詩画・俳画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在抱えている心情を素直に言語化し、表現形式を選択し、創造的で心豊かな表現の構想を練る。</li> <li>・言葉の「余韻」と絵画表現の「余白」を掛け合わせることを意識して取り組む。</li> <li>・用具の特性と作業手順の違いや表現効果について理解し、表現技法を選択する。</li> <li>・見る人の心情とデザインとの関係、生活や環境においてデザインが果たす役割や責任、造形の要素と情報を伝達する機能との関連を理解するとともに、それらを効果的に生かせるようにする。</li> </ul>		
	2 2学期 (1) 期末考査まで ア クラフトデザイン(七宝焼・前半)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手づくりのよさや材料の特性、生活と工芸との関わりについて理解する。</li> <li>・美的で機能的な作品を制作する発想や構想や技能に関する資質・能力を身に付ける。自然や素材、身近な生活や自己の心情や思いなどから心豊かな発想をする。</li> <li>・目的や条件、表現の意図などを吟味し計画から制作まで創意工夫して表現する。</li> </ul>		
	3 3学期 (1) 学年末考査まで ア クラフトデザイン(七宝焼・後半) イ 2年間を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の特性や道具の構造を理解し、他者と相談することを通して作業の手順や工程の背景を総合的に判断しながら最適な手順を導き出す力を養う。</li> <li>・美術Ⅰ及び美術Ⅱの学習を振り返り、美術と生活・社会とのつながりを再確認する。</li> </ul>		
評価規準	美術への 関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方向を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	「美術への関心・意欲・態度」「発想や構想の能力」「創造的な技能」「鑑賞の能力」の観点別評価規準をもとに、授業に対する取組や作品などを総合的に判断して評価する。			
その他	夏季休業中の課題として、全員「各種ポスター」の制作を行う。			